

応募概要

事業開始 2024年2月末～

費用 事業開始から当面の間**無料**

募集人数 **専用タブレット 150名** (応募者多数の場合は抽選とさせていただきます)
スマートフォン 人数制限はありません

対象者

- もみじ台・青葉にお住まいの方
- メールアドレスをお持ちの方

専用タブレットサービスをご希望の方 ※60歳以上の方推奨

- 専用タブレットを無料貸与します。
自宅にWi-Fi環境がある方、Wi-Fiの導入を検討されている方が対象です。

※専用タブレットでのみ本サービスを利用できます。
※Wi-Fiとは、端末とインターネット環境を接続する「無線LAN」のことです。

スマートフォンサービスをご希望の方 ※年齢制限なし

- ご自身でスマホをお持ちの方が対象です。

新・さっぽろモデルに参加しよう!

【新・さっぽろモデルの参加方法】

- 右記QRコードより応募
※応募いただいた方には、サポート窓口から利用開始説明会をお知らせいたします。
- 利用開始説明会に参加して「さっぽろスマートID」を登録
(飛び入り参加もOKです!)
※2024年2月28日(水)より、もみじ台・青葉地区にて順次開催いたします。
日程が決まりましたら、チラシ、ポスター、札幌市HPでもご案内いたします。

新・さっぽろ
モデルへの
参加申込は
こちら



【新・さっぽろモデル】に参加して

先着で Amazonギフト券をプレゼント!

※キャンペーンの参加は2月末～となります

詳細は
こちら
▶▶▶



新・さっぽろモデル キャンペーン 検索

【問合せ先】

札幌市スマートシティ推進協議会 サポート窓口

☎ 050-1808-7493 (受付時間: 平日9時～17時)

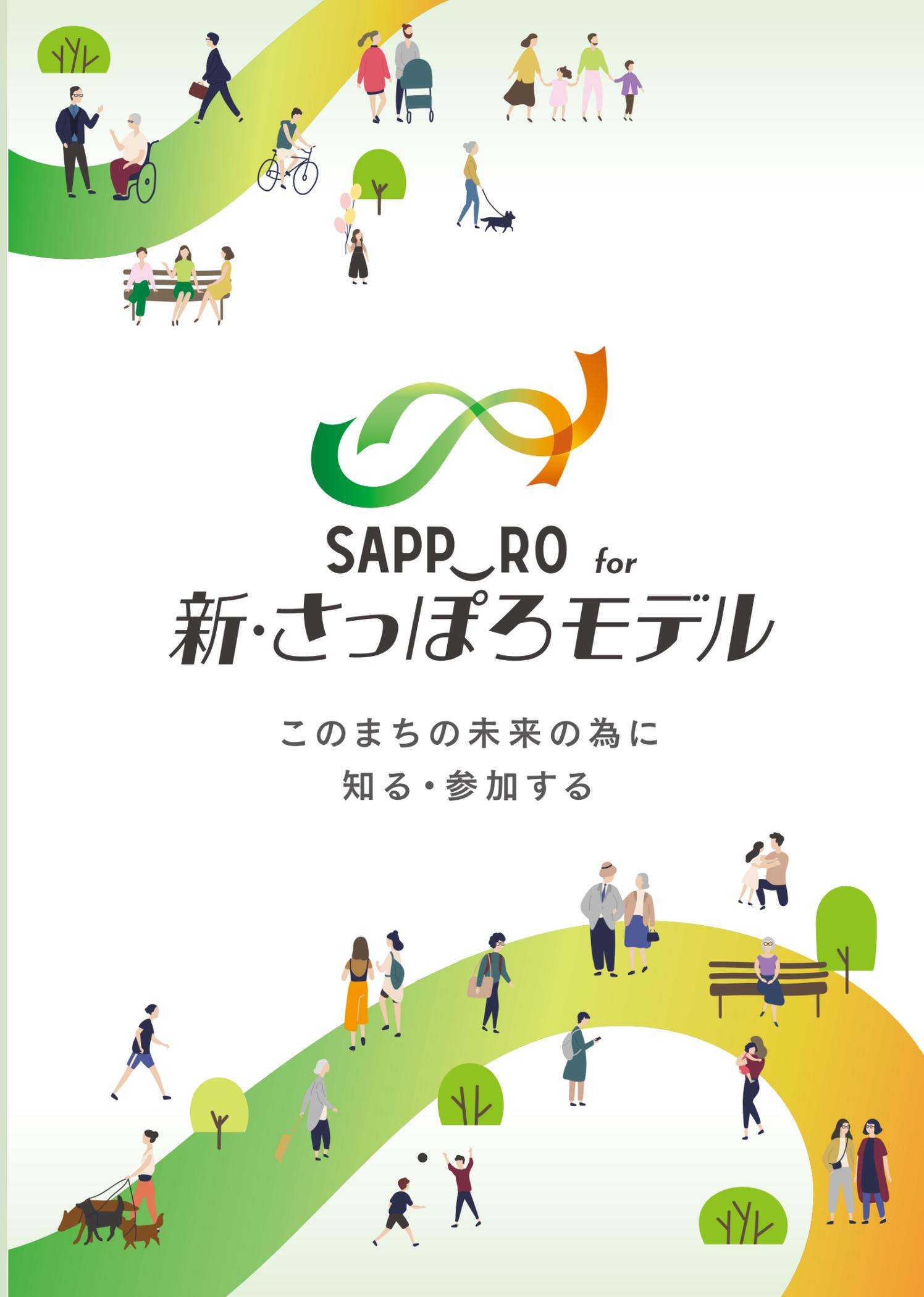


〈作成日: 2024年1月23日〉



SAPPORO for 新・さっぽろモデル

このまちの未来の為に
知る・参加する



このまちの未来の為に知る・参加する “新・さっぽろモデル”って どんなもの？

札幌市では、再開発が進み都市機能が集積する「新さっぽろ地区」と、少子高齢化が進む周辺の住宅地である「もみじ台・青葉地区」の連携による相互発展のため、国の「デジタル田園都市国家構想」による交付金を活用しながら、先端技術を活用した地域の課題解決や魅力向上に向けた取組を進めています。

まずは、様々な事業者がオープンなデータ連携基盤を活用しながら、もみじ台・青葉地区に居住する高齢者を対象に、日々の健康チェックの結果に応じた健康相談や日常生活でのお困りごとに対するサービスとのマッチングなど、生活支援・健康増進・コミュニティ活性化に資するサービスの提供を予定しています。

今後はテクノパークや大学との連携も検討し、地域の住民が多様な関係者と関わることにより幸せを感じられるよう、地域の生活利便性向上に資する多様なサービスの展開を目指します。



札幌市 デジタル戦略推進局
スマートシティ推進部
デジタル企画課
事業推進担当係長
松岡 寛晃

多くの課題を抱える
「もみじ台・青葉町」エリアを
**デジタルの仕組みを
使って変えていこう**



今登録すれば！

将来的にさまざまな
便利なサービス
を受けられます！



ロゴマークに込めた思い

「新」「札幌」のそれぞれの頭文字「S」を2つつなぎ合わせたデザイン。事業のテーマである「つなぐ、つむぐ、つくる」から、リボンや糸をイメージさせたモチーフは、「∞(無限大)」の形も表しています。カラーは、今回の対象地域である新さっぽろ「もみじ台・青葉」から連想したカラーを使用しました。

どうしたら
参加できるの？

利用開始説明会に参加して
「さっぽろスマートID」を
登録するだけ



「新・さっぽろモデル」
PR大使
国井 美佐

“新・さっぽろモデル”を 利用するにはどうするの？



使えるデバイスは3種類
それぞれ利用できるサービスが異なります

利用開始説明会に参加して「さっぽろスマートID」を登録しよう！



「さっぽろスマートID」とは？…「新・さっぽろモデル」を利用するために必要な個人を識別するIDのこと。マイナンバーカードがあれば簡単に登録することができます。*マイナンバーカードをお持ちでない方も登録可能

**専用
タブレット**
自宅にWi-Fi環境が
必要

自分で
所有している
スマート
フォン

**共有
タブレット**
(もみじ台などに
配置予定)

「さっぽろスマートID」を登録すると、以下サービスを受けることができます！

地域情報をお届けします！

お住いの地域に関するお買い物情報やイベント情報など、生活が便利に楽しくなるような情報を受け取ることができます。



近隣施設までの交通案内を確認！

銭湯や飲食店、生活に欠かせない医療機関や美容院などを調べることができます。また、目的地周辺のトイレや公衆Wi-Fiなども事前にチェックすることができるので外出時にも安心です。



廃棄になりそうな食品を減らそう！

地域の飲食店から、やむを得ない事情により廃棄になりそうな食品を受け取ることができます。



屋内農園で野菜を育てよう！

地域の皆さんと一緒に野菜を育てるので初心者でも安心して参加できます。収穫した野菜でカレーパーティーなどのイベントも企画中です。



屋内農園

地域のいろんな世代の人々が集うことができるコミュニティ型農園

初心者でも簡単に利用できる専用アプリを使って、皆さんと一緒に野菜の栽培を楽しむことができます。イベントの開催や、休憩スペースも併設予定です。お楽しみに！

屋内農園MAP
もみじ台ショッピングセンター内1階

健康を見直そう！



体重、血圧を日々入力してご自身の健康管理に役立てましょう。地域の皆さんと歩数を競い合うこともできます。



AIとおしゃべり
今日の予定や新着情報をお知らせ



タブレットでアイちゃん(AI)が、日常の出来事などお話し相手になります。また、カレンダーに予定を入力でき、画面で予定や新着情報をお知らせしてくれるので安心です。





1 株式会社ホクノー 代表取締役社長
野地 秀一さん

**リアルとデジタルの融合性で、
人々の行動を促していく**

現在、ホクノースーパーを利用する人のうち、65歳以上が過半数を超えています。購買スタイルも変わり、配送サービスの利用が一日に100件、年金支給日には200件を超えることもあります。弊社のスーパーでも「健康ステーション」を開くなど、人が集まる取り組みをしていますが、デジタル化するうえで、利用しやすいように心がけることが大事ですね。



2 札幌テクノパーク協議会 会長
朝倉 由紀子さん

**住みやすく便利なまちづくりで、
働く人・住む人が増えて欲しい**

1986年から札幌テクノパークは、IT産業を次代を担う主力産業に育成する目的で整備され、札幌市エレクトロニクスセンターと共に歩んできました。当時ここで働いていた人の子も世代が、今まさにここで働いていたりします。新・さっぽろモデル事業をきっかけに3世代で愛される、地域と共に歩めるようなそんな町になるよう、もっと情報発信や交流が盛んになるような取り組みを協議会としても考えていきたいです。



この町の「昔」と「今」、そして「未来」。

キーマンに聞く、「新・さっぽろモデル」

3 もみじ台まちづくり会議 副議長
高澤 英治さん

**進む地域の人口減少と高齢化、
新たなつながりの創出に期待**

かつて2万7,000人程が住んでいたもみじ台地域ですが、現在は約半数にまで減りました。高齢者世帯が50%を超え、うち30%が独居と高齢化も進んでいます。そんな中、新たな地域のつながりを創出する本事業の試みに注目しています。多くの高齢者にとってスマホ、タブレットの操作に不安があると思いますが、たくさんの方に手に取ってもらい、興味を持ってもらえるように進めてほしいですね。



4 青葉町自治連合会長
土田 義也さん

**若い人にも住みやすいまちを
次世代に良い環境を残したい**

昔は、この辺りの交通機関も不便、住民たちは働きながらバスの誘致、延伸、除雪区域の拡大などに尽力してきました。今の町内会は高齢化が進んでいます。若い人のためにも、40~50代の中間世代の方にもまちづくりに参加してもらいたいですね。地域の町内会だけでなく、学校や役所も一緒になって、環境を整えたいと感じています。

